

令和5年度の警察政策研究センターの主な活動

1 フォーラムの開催

警察政策フォーラム等の実施状況は以下のとおりであり、警察関係者のほか、関係省庁職員、大学教授をはじめとする研究者、テーマに関心を持つ民間企業役職員等の幅広い参加を得た。

なお、社会安全フォーラム「「公共空間化」するサイバー空間の安全安心の確保～官民の多様な主体連携～」については、会場開催とあわせてオンデマンドによる配信も実施した。

※ 敬称略、役職は開催当時のもの。

○ 令和5年10月2日（月）

社会安全フォーラム「「公共空間化」するサイバー空間の安全安心の確保～官民の多様な主体連携～」

- ・ 場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
 - ・ 主催：警察政策研究センター、（公財）日工組社会安全研究財団
 - ・ 後援：（公財）公共政策調査会、警察政策学会、（一財）警察大学校学友会
 - ・ 講演：
 - ジェイ・クラマー（米国 NCFTA (National Cyber- Forensics and Training Alliance) ニューヨーク支部マネージング・ディレクター)
 - 櫻澤 健一（（一財）日本サイバー犯罪対策センター（JC3）業務執行理事）
 - 薦 大輔（森・濱田松本法律事務所弁護士）
 - 中嶋 昌幸（警察庁サイバー警察局サイバー企画課理事官）
 - ・ パネルディスカッション：上記講演者に加え、
 - 郷治 知道（コーディネーター、警察政策研究センター所長）
- 本フォーラムには、警察関係者、企業関係者、サイバーセキュリティ関係者、大学関係者等約 260 名が参加した。

○ 令和6年3月1日（金）

警察政策フォーラム「大阪・関西万博における安全安心の確保」

- ・ 場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
- ・ 主催：警察政策研究センター
- ・ 後援：（公財）公共政策調査会、警察政策学会、（一財）警察大学校学友会

- ・ 講演：
 - 稲垣 吉博（内閣官房国際博覧会推進本部事務局内閣参事官）
 - 多々納 裕一（京都大学防災研究所社会防災研究部門防災社会システム研究分野教授）
 - 小澤 孝文（（公社）2025年日本国際博覧会協会危機管理局長）
 - 佐藤 新悟（大阪府危機管理室防災企画課参事）
 - 増田 武志（大阪府警察本部警備部長）
 - ・ パネルディスカッション：上記講演者に加え、
 - 郷治 知道（コーディネーター、警察政策研究センター所長）
- 本フォーラムには、警察関係者、企業関係者、大学関係者、報道関係者等約50名が出席した。

2 学界との交流窓口としての活動～各分野の研究者との交流の拡大

フォーラムの開催や日本刑法学会等各種学会への出席、各種研究会への参画等を通じて、研究者等との積極的な意見交換を行った。

また、前年度に引き続き、慶應義塾大学大学院（市民生活の自由と安全研究会）と共同研究を行った。

3 大学・大学院における講義の実施

所長、主任教授及び教授が、京都大学法科大学院・公共政策大学院、中央大学法学部・総合政策学部、東京大学公共政策大学院、東京都立大学法学部、一橋大学国際・公共政策大学院、法政大学法学部及び早稲田大学法科大学院で講義を実施し、警察政策に関する研究の発展及び普及を図った。

なお、警察庁職員が、慶應義塾大学総合政策学部及び東北大学法学部に出向し、研究・講義を行っている。

4 国際的な交流～国際会議・セミナーにおける講演、各国研究機関等との情報交換等

以下のシンポジウム及び学会において、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

- ・ 6月 スtockホルム犯罪学シンポジウム（主任教授らが出席し、日本警察におけるAIの導入の概要について発表）
- ・ 9月 ヨーロッパ犯罪学会（主任教授らが出席）
- ・ 11月 アメリカ犯罪学会（主任教授らが出席）

- ・ 12月 アジア犯罪学会 (助教授が出席し、日本警察における AI の導入の概要について発表)

また、警察政策研究センターの研究科に入校の上、海外に派遣された調査研究員が、各種警察政策に関する調査研究を行った。

5 活動成果の発表、各種資料の作成

警察政策フォーラム等の内容を紹介する特集記事や研究テーマに関連した論文を警察学論集等に掲載した。

